

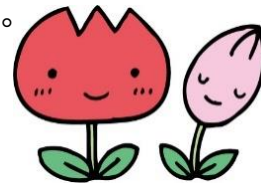
ぽっかぽか 5月 ひよこ組



4月当初より、色々ご理解ご協力頂きありがとうございます。

早いもので、ひよこ組がスタートしてから一か月が経ちました。登園する子どもたちは、慣れない環境で涙する子もいましたが、保育者と一緒にたくさんスキンシップをしたり、好きな遊びを楽しんで過ごすことで、園生活にも少しずつ慣れてきました。

今月は保護者会の際に、お伝えする予定だった内容を記載しています。
子どもの様子は、今後行われる予定の保護者会でお伝えいたします。



～子どもたちの成長を見つめながら～

●目と目を合わせて…

目と目を合わせたコミュニケーションを大切にしています。自分のしてほしいことやオムツが濡れて気持ちが悪くことなど、泣く・笑うという表情の変化や体の動きによって表現します。眠い・おなかがすいたなど、泣く原因はさまざまですが、大人が子どもの生活リズムを把握したり、子どもの表情を汲み取ることにより、子どもと大人の間信頼関係がうまれてきます。

そのためにも、普段から必ず目と目を合わせて語り掛けるコミュニケーションを重ねて子どもの出すサインを敏感にキャッチできるようにしています。

最近では、目と目を合わせながら、わらべうたや手遊びを歌うことで子どもたちも、笑顔が増えるようになってきました。

少しずつ人の顔の見分けもつくようになり、いつも身近にいてよく関わってくれる人に対して、声を発したり笑いかけたりします。子どもが声を出した後で、大人が声を出すのを待ったり、声を出して返事をするなど、大人と会話を続けるようになっていきます。



●自分でやろうとするチャンスを逃さない

さまざまなことに対して、自分で参加しようとする意欲が強い時期になると、自分ではまだできないことも、なんでも自分でやろうとする姿が見られるようになります。それを大人が先回りしてやってしまうと子どもは怒ることも…。そんな時は「上手にできたね、あとは手伝ってあげるね」など、大人は子どもの動きを見てそれに合わせてやってあげることで、自分でできたことの喜びを感じられるようになっていきます。靴下を見せると足を上げて履こうとする仕草や、服をもって体のどこかにあててみるなどの姿が見られた時がチャンス！その機会を逃さないように、近くで見守りたくさん褒めることを大切にしたいですね。

上でお伝えした事を大切にしながら、日々、子どもたちと触れ合っています。少しずつ身についていくように繰り返し伝えることも大切です。保育園だけでなく、ご家庭でもパパやママがコミュニケーションをたくさん取って、たくさん褒めてあげることで子どもたちも、より興味をもって取り組むのではないのでしょうか。

1年間を通して、遊びの中でさまざまな五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）を刺激し、いろいろな発見をしていきたいです！子ども自身のやろうとする力を大切に、安心できる環境のもと、日々の小さな成長を保護者の皆様に伝えられるよう見守っていききたいと思います。

～お願い～

- 保育参観、個人面談の開始時期について
後日、お知らせを掲示いたします。何かご相談等ありましたらお気軽に職員までお声を掛けてください。
- 衣服の補充、お持ち帰りについて
衣服は毎日確認して、補充して下さい。お持ち帰りのオムツは忘れずお願いします。また、名前(またはマーク)の記入もお忘れなく！
- 大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんへのお願い
お部屋では寝ている赤ちゃんがいます。また、お部屋で遊んでいる赤ちゃんも、急に大きな音や声がするとびっくりしてしまうので、お兄ちゃん、お姉ちゃんはお支度コーナー(じゅうたんが敷いてあるところ)で待つか、廊下で待っているようご協力よろしくをお願いします。

～1年の主な活動予定～

- 春 環境に慣れる<部屋・保育士>安心して過ごせるように。
1人1人に丁寧にスキンシップや言葉かけなどを心掛けています。
- 夏 沐浴や水遊びを行い、水の気持ちよさや体がきれいになった心地よさを
知っていきます。
- 秋 長久保公園デビュー。自然や季節を感じたり、他クラスの子もたちとの
触れ合いもみられるかもしれません。砂遊びやでこぼこ道を歩いてみたり、
ハイハイしてみたり…。運動会は、親子参加の予定です。
- 冬 子ども会があります！わらべうたなど日常の子どもたちの姿を披露できれば
と思います。遊びや生活を少しずつ、進級に向けて慣らしていきます。

個々の発達に応じて活動が前後することもあります。
その都度、子どもの様子などは写真の掲示やお便りなどでお知らせします。

